

31 新發田 城跡

しばた

--- 100名城 ---
2020.9.22



別名: 菖蒲城(あやめじょう)、舟形城、狐尾曳ノ城

スマホの携帯ナビでJR新發田駅からお城を目指して歩いていたら、突然自衛隊敷地内への案内となり、しかも鉄門でのシャットアウトです。仕方なく他の道をナビで探していた時、ちょうど敷地内で隊員さんが通りかかり事情を説明しましたら、親切に鉄線網越しに途中まで案内してくれました。

ちなみに、この駐屯地は二ノ丸の一部が利用されています。

FB - 075



加治川を外堀に利用した平城。現在は本丸の一部を除く全域と北の古丸全域、二の丸の一部が自衛隊駐屯地として利用され、本丸南側の石垣と堀、櫓門の本丸表門と二重櫓の二の丸隅櫓が現存。

三階櫓や二重櫓の復元建築がある。現存建築がある城跡としては新潟県内では唯一である。石垣は本丸の表門側のみに前面乱積み(なまこ積み)の石垣がもちいられ、他は腰巻石垣や土居であったと考えられている。しかし1669年の大地震により、石垣が崩落しその復旧工事で、切込接布積に改められたとされる。

一口×モ × 3

切込接ぎ(きりこみはぎ)

方形に整形した石材を密着させ、積み上げる方法。
石材同士が密着しているので排水できないため排水口が設けられる。

辰巳櫓(復元)

櫓の外壁には冬季の積雪への対策の意味もあり、海鼠壁(なまこかべ)が用いられていた。その他の塀や一部の櫓門には、下見板が張られていた。

生子壁/海鼠壁/なまこ壁(なまこかべ)

土蔵などに用いられる日本伝統の壁塗りの様式の一つで、その壁をも指す。生子/海鼠/なまこもいう。壁面に平瓦を並べて貼り、瓦の目地(継ぎ目)に漆喰を蒲鋒形に盛り付けて塗る工法によるもので、目地の盛り上がった形がナマコ(海鼠)に似ていることからその名がある。



復元された三階櫓



本丸表門

32 春日山城跡

--- 100名城 ---
2020.9.24



山まるごと城にしちゃった！上杉謙信の巨大すぎる居城
(約2km四方にも及ぶその城域の広さ)

上杉謙信公の居城として広く知られている春日山城(標高182m)は、複雑な自然の地形を利用した堅固な城塞から、難攻不落な天下の名城と言われました。

現在も空堀や土塁などが数多く残っています。中腹には昭和44年、大河ドラマ「天と地と」の放送に合わせて建立された謙信公像があります。



春日山城跡は春日山駅から3.1Km(徒歩で50分弱登り合)ですが、お城スタンプ押印は別場所(城跡ものがたり館で少し遠回り)のため1時間以上かかりようやく登城口(春日神社下)に着きました。

しかし、何と目の前には135段の階段が控え、さらにそこから山を登っていくのかと思うとちょっと躊躇しましたが、ここは意を決して頑張りました。やはり登ってみると、天守台からの眺めに我を忘れます。良かった～！

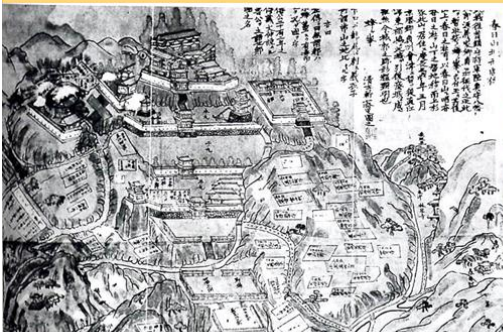


天守台より上越市を望む

春日山城絵図



古絵図



131 村上城

--- 続100名城 ---
2020.09.22



別名: 舞鶴城、本庄城

FB - 077

臥牛山がぎゅうざん(標高135m・通称お城山)に初めて城が築かれた年代は不明だが、戦国時代に、築城されたとみられている。当時は本庄城と呼ばれており、木柵で防御された中世式の城郭であった。



スタンプ押印場所は村上郷土資料館にあり、そこから0.5Kmほど先に臥牛山が聳え立っています。登城口からは急な坂道に登る覚悟で近づいて行きましたが、何と、下の写真でお分かりのように緩やかな九十九(つづら)折状の坂? (階段) が頂上近くまで伸びており、気持ちよく楽に登り切りました。天守跡から村上市が見渡せ、最高の気分でした。



村上城跡本丸空撮

復元; 村上城



天守跡から見た村上市中心部



1597年描の村上城 (米沢市所蔵)



九十九折の坂道



臥牛山山頂と天守跡



臥牛山 登城口



城下町



臥牛山

132 高田城

--- 続100名城 ---
2020.09.21



別名：高陽城・螺城・蛟ヶ城・関城

こうようじょう・らじょう

FB - 078



高田駅を降り駅前通りを歩くと、昔懐かし昭和の雰囲気が出てきます。ホテルまでの町中歩き10分間、ずーっと雪囲い(アーケードのようなもの)「雁木(がんぎ)」の中を通りました。

ここ高田では「とんぼ」とも呼び、秋田や青森では小見世(こみせ)と呼ばれています。またお隣町の津川は「雁木発祥の地」として看板も設けられています。

本丸(230m×220m)を取り巻くように二ノ丸、南に三ノ丸、北に北の丸を配し二つの川を外堀として利用した。すべての曲輪に土塁が採用され、石垣は築かれなかった。低湿地に築城されたため排水設備での技術水準は高く、**暗渠**が張り巡らされていた。天守はなく、1614年に3重3階の三重櫓を建てて天守の代用とした。

一口メモ 雁木

商店街などで見られる雪よけの屋根のこと。アーケードに類似している。

一口メモ 暗渠 あんきょ

地中に埋設された河川や水路のことであり、開渠に相対する概念である。



高田市街

発祥の地・看板



蓮一面のお堀



十七世紀後半の高田城---公園入口看板



高田城

133 鮫ヶ尾 城跡

--- 続100名城 ---

2020.09.21



別名: 宮内古城 (みやうちこじょう)

FB - 079

この鮫が尾城と先の春日山城・高田城は元JR沿線で、今は独立して新潟県内のみ「えちごトキめき鉄道」となり、直江津-妙高高原駅間の「妙高はねうまライン」鉄道路線に変わっています。これは2014年北陸新幹線開業時の平行在来線として経営分離されたものです。

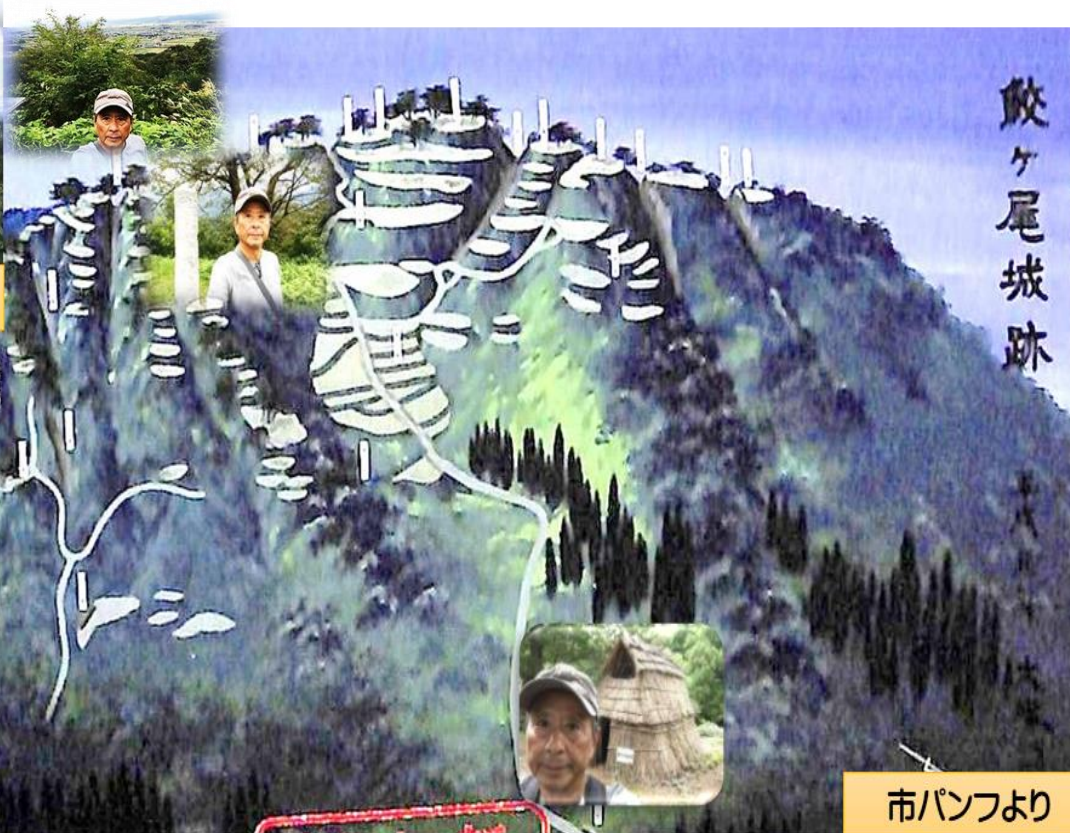
因みに直江津-市振駅(海岸線の富山県方面の新潟エリア)は「日本海ひすいライン」と呼んでいます。別会社のため、ICカードのICOCAは使えず、現金での切符購入のみです。ものすごく不便・遅れています。



築城年は不明、上杉氏(長尾氏)による北国街道の防御を兼ねた街道整備の一環として、**春日山城**直近の最前線**要塞**の意味合いで築城ないし大規模改修がなされたと伝わる。また、越後の歴史に名を残す大舞台となった城としても有名です。それは「**御館の乱**」(おたてのらん)といって、上杉謙信の二人の養子・上杉景勝と上杉三郎景虎が、上杉謙信亡き後の後継者争いの戦いです。



本丸からの上越市



鮫ヶ尾城跡

市パンフより



驚き! 燃えた城から焼けた「おにぎり」を発見



春日山城跡